



菅
名

特 別
チ 12
3656
20



412
3656
20



五言ガ一ニ一ニ一ニ一ニ一ニ一ニ一ニ一ニ一ニ一ニ一

雪を志のく松乃笠づく出る

詞

日影まも成りせ うやうふん

夫ハ大倉乃天物の首領吾東屋

少てんさくもりら國よをりて

音とらき我さぬみ巻よ玉衣と

少も櫻心の葉いさかりのるよ

後引をりとりし事あしほや

< 97 - 126 >

木能木立是亦う我亦の位へ
所ふて人ひうふは菴家内入
案内山 早荷 亦うて波里うう

是ハ大倉乃天狗乃首領善東屋
ふてはうは目ふふく 早 孫
ふ 早 ことものふて 早 神も
ま 早 こと 早 して 早 こと 早 なる

善東屋少をもうん 早 是ハの 早 菴
菴家へ 早 入 早 入 早 入 早 入 早 入
何のた 早 女 早 小 早 出 早 出 早 出 早 出 早 出
 早 菴 早 家 早 事 早 能 早 能 早 能 早 能 早 能
 早 菴 早 國 早 一 早 一 早 一 早 一 早 一 早 一
 早 學 早 一 早 一 早 一 早 一 早 一 早 一 早 一
 早 一 早 一 早 一 早 一 早 一 早 一 早 一
 早 一 早 一 早 一 早 一 早 一 早 一 早 一

まろんをふりし取及んやとふ
かかしのきりしんぬよけさく
思ひつらては回しくはほ心を
ひとほよしして自他乃本意を
違し新入 早 梅ハヤさくくも
思召立ん抱う般支我國ハ大地
甲羅よわばうし先心神國も

まろん佛法いまのよきりんなわ
せんまらりまさは 上方 山あまらう
日本天台山よ心乃まらふ
うかこひ信入 手上方 梅いよく
たうわありう新天台は佛法ハ
撰亥二教よりち又書字乃
真儀を信入 別巻曲学所

ふふを 我ふとき 能くひと
しや 上三の月 たやすく 伺ひ 終りん
事 尚 能く 皆とうや 精進乃
月ふあひ 於あ 一うくハ 志進乃
さく 於我 懐胎上 懐心の 便を
えんと 思ふ 亦も 大皇 能く 力を
いよく 案一 けく 能く たり

芥田二九

夫の 主 能く 懐胎 能く なる ひと
天 利益 能く 爲す 子こえ 亦く 火
主 三味 能く 入 能く 一切 乃 魔軍 能く
焚焼 能く たり 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
現す とも 能く 共 能く 心 亦 亦 亦 亦 亦 亦
能く 能く 能く 能く 能く 能く 能く 能く 能く
宿 主 心 能く 能く 能く 能く 能く 能く 能く 能く

山、灰、う、ま、志、う、わ、と、は、い、八、世、
臨、回、の、久、を、う、わ、る、て、魔、境、小、
志、所、む、ま、教、き、お、り、ひ、き、う、り、や、
我、な、う、う、こ、ま、ま、く、乃、習、よ、流、石、
見、佛、や、法、乃、其、結、縁、乃、初、よ、も、わ、
三、悪、乃、を、出、た、う、う、於、も、鬼、畜、乃、
才、成、う、わ、て、い、と、う、佛、教、法、教、と、

上
才、神、乃、あ、あ、う、ま、よ、う、ま、し、と、を、
教、う、り、未、来、や、う、く、成、り、成、
と、ま、も、は、は、る、教、乃、教、乃、を、え、う、
火、重、三、味、乃、結、縁、を、通、ま、り、法、乃、業、乃、
世、中、の、業、の、現、う、法、乃、も、業、乃、
し、ま、や、ま、う、業、の、あ、う、法、乃、建、ひ、を、
翻、一、海、眼、で、ん、と、月、お、も、り、

一、いふく我懐乃旅かふ
あひきも届ててつこほり
り夫旅原をうかひて海魔
利敵をまらあうりかうわ
か、てハ時刻うほわん
も海舟よ直ゆは敵乃山さ
志家へやせ 法乃大女い
二、

あゝ山のみよ新三を
思ひかた電能うけ橋うら
上、必やよう小高旅山ひ
三、神ハ大ひえや 横川乃杉
木末よわ 畜よほくぬさ
二、 嶽乃おやさ 能也露も
せよ笑よくわ 物をうけ

我々決りたまはぬ出なすも
同しなすもたうきさおかうち山乃
刃ちたすもせ かくてやうく
大いえ成むをほくはくしき
やああきすーくたるさくわ
松乃 末末乃流町志ほましく
雲とわらあめとたなる山河をま

下
震動志天よかき屋くいふひわ
大地よ魂くわくはちいきも
魂をくわゆるんこいも何乃
おやんく 拵はく大唐乃
天狗の首領善象房とは我々也
意ものくくやん小は屋く更
なよの親志なふき成夫只作

際得各有一伴魔境と後ありあ
痛りや歌界乃うらよまは
摩ハ 怪乃乃らち也
魔乃乃らちまことあわぬ
少き也乃らちもく
邪法を唱ふは解すなわ本もわ
魔佛一みうして凡道不二なるわ

青

白法清淨天然うきあき
不動となはるるわ 龍我説者
乃大智道うきたるんまん
三可法あり能くもわもく
明互ありしれ出竹人の疑也
数多伽十二天を能く治魔の
力を合さる見もきをりしは

上月

